

第2次
京丹波町

食育

推進計画

概要版

2019年(平成31年)

京丹波町



笑がおいで食育 ～「やさい」と

第2次京丹波町食育推進計画は、身体の健康や心の豊かさを育て、子どもたちが健やかに笑顔で成長する姿を目指します。
対象は18歳までの子どもとその保護者として取組を行います。

計画期間

2019年（平成31年）度から8年間の計画とし2026年度を目標年次とします。

基本方針

食が育てる ～感謝するところ～

「食」を通じて感謝するところや、人や物を大切にする気持ち、楽しく食事をできる環境を育む取組を行います。

食を育てる ～つくる喜び・食文化～

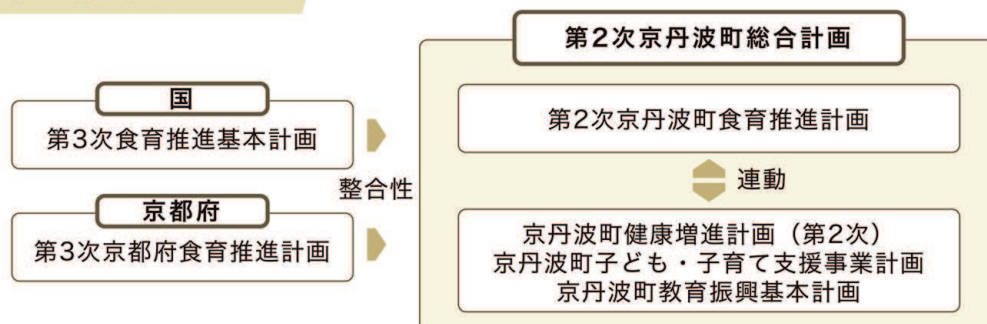
様々な世代に「食」を通じた交流や体験をとおり、食文化の継承やつくる喜びを育む取組を行います。

食で育てる ～食の知識・判断力～

規則正しい生活習慣を基に、成長に応じた「食」の知識の向上や判断力を養うための取組を行います。特に生活習慣病予防のための「野菜摂取量の増加」「適塩（減塩）」の取組を行います。



計画の位置づけ



「適塩」でつながる健康の里づくり～

重点施策

～ みんなでつながる食育 ～

朝ごはんを毎日食べる習慣の推進

朝ごはんを食べることにより、起床や就寝時間を含めた生活習慣の規則性の推進、生活習慣病予防に繋がります。

「やさい」の栽培、収穫を通じた実践型食育の実施

「やさい」の栽培や収穫を体験することにより、食べ物への感謝、生産者への感謝など「こころを育む」実践型の食育を取組んでいきます。

カリウム摂取（野菜・果物等）、適塩（減塩）の推進による生活習慣病予防の推進

子どもの頃からのカリウム摂取（野菜・果物等）、適塩（減塩）の食習慣の定着を行います。

取組内容

- 1 校種間や地域の生産者等と連携をし、体験・実践型食育の実施（栽培活動、クッキング活動等）
- 2 あいさつや食事マナーの指導
- 3 家庭や地域への食育の取組を発信
- 4 「やさい」をつくる活動を通じた地域交流の実施や地域の力（きょうと食いく先生等）の活用
- 5 自給自足的循環社会を意識した活動の推進
- 6 地元産の野菜や特産物の積極的な活用と推進
- 7 「早寝・早起き・朝ごはん」など規則正しい生活習慣づくり
- 8 生活習慣病予防のための適塩（減塩）習慣の推進
- 9 生活習慣病予防のための野菜の積極的摂取の推進
- 10 食育活動の広報



第2次食育推進計画の数値目標

	目標項目	現状		目標
1	京丹波野菜たっぷり献立の日	0回	平成29年度実施状況	年3回(各学期)
2	統一テーマによる 「食育だより」の発行	0回	平成29年度実施状況	年3回
3	実践型食育の実施	100%	平成29年度実施状況	現状維持
4	朝食を毎日食べる者の割合	小学校 99.2%	平成28年度 生活習慣調査結果	100%
		中学校 95.2%		100%
		20～30歳代 男性 75.3% 女性 75.0%	平成28年度 生活アンケート結果	100%
5	野菜をたっぷり使った料理を 1日2回以上食べている割合 (たっぷりとは両手のひら一杯程度)	20歳代 男性 36.1% 女性 29.8%	平成28年度 生活アンケート結果	現状より改善
		30歳代 男性 36.4% 女性 34.1%		
		40歳代 男性 37.5% 女性 38.8%		
6	野菜を使ったレシピの紹介	年4回	広報紙掲載回数	年8回
7	1日塩分摂取量 (乳幼児保護者の尿中塩分測定値)	男性 10.7g 女性 9.4g	平成29年度測定結果	男性 8.0g 未満 女性 7.0g 未満